人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

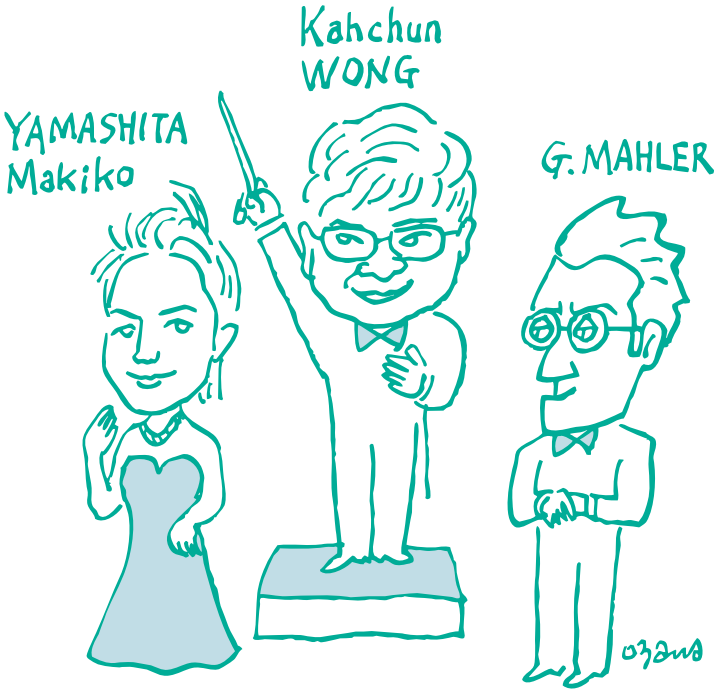
創立指揮者 渡邊曉雄

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

2023
10
OCT

第754回
東京定期演奏会



サントリーホール
2023年10月13日(金)19:00
10月14日(土)14:00

日本フィルハーモニー交響楽団

日本フィルハーモニー交響楽団
親愛なる聴衆の皆様

今日は皆様にお目にかかれて本当に光栄です。
日本フィルハーモニー交響楽団の新たな首席指揮者として今週 私の就任披露演奏会が設けられました。
任命を受けたことに名誉と責任を感じ、これから真摯に取り組んでまいりますが、舞台上で挑むオーケストラとの気迫ある音楽作りは私の任務として、これからも作曲家と聴衆の皆さまに捧げ続けてまいります。

マーラーの交響曲 第3番は 私にとって非常に大切な作品です。
この作品は私が初めて指揮をしたマーラーの交響曲で、2016年のグスタフ・マーラー国際指揮者コンクールでバンベルク交響楽団と共演した作品でもあります。
またコンクールの数ヶ月前の日本滞在中に、平塚市にある公立図書館で この交響曲について時間を忘れ勉強に没頭した思い出もあります。

この交響曲は全6楽章からなり、天地創造を一から描いたような作品です。
第1楽章は山脈、動乱の嵐、激しい高波の音とともに地球の誕生が描かれています。
第2楽章は木や花のような植物相 (フローラ) が描写され、第3楽章には鳥や動物など動物相の響きに包まれますが、時折ポストホルンの崇高な響きによって中断されます。
第4楽章に、ようやく人間が登場し神秘的な雰囲気で歌が奏でられます。
人間は複雑で謎に満ちていて理解が難しい生き物かもしれません。
第5楽章では天使たちが登場し「天上の暮らし」の歌詞を合唱団が歌い、マーラーの交響曲 第4番を予示しています。
最終章の第6楽章では、全てを受け入れる包括的な愛が描かれています。
美しいパッセージが疑心を抱く瞬間と対比しながらも、より大きな愛の力で心に安らぎを与えていきます。

マリナ・マーラーと共に、彼女の祖父グスタフ・マーラーが作曲小屋を建て、交響曲の第2番と第3番を作曲するため、夏に滞在していたオーストリアのアッター湖畔にあるシュタインバッハを訪れたことがあります。
その小屋は青緑色の美しい湖畔のすぐそばにあり、青空となだらかな丘陵に囲まれていました。
美しい大自然に身を寄せ 作曲期間中は殆ど人とは会わなかったそうです。
マーラーの話を聞くたびに、とても感動し、どのような理由で交響曲を作曲してきたのか理解しやすくなりました。
私がマーラーの交響曲 第3番の美しさに心を打たれたように皆様がこの作品から感動を得られることを願っています。

カーチュン・ウォン

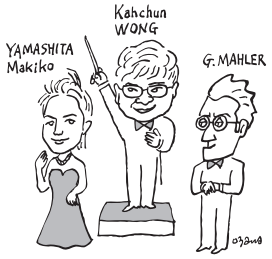
CONTENTS 目次

©Angie Kremer

- プログラム 4
- 出演者プロフィール 6
- プログラム・ノート- 澤谷 夏樹 - 9
- 歌詞対訳 12
- あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ 16
- 写真プレイバック- 2023年7～9月 - 18
- 感動の共有　～ご支援のお願い～ 23
- 日本フィルハーモニー交響楽団　特別会員ご芳名 24
- パトロネージュご芳名 28
- 日本フィルハーモニー協会　維持会員ご芳名 30
- Member's TVU CHANNEL 配信一覧 31
- 第九特別演奏会2023 32
- 新入団員紹介 33
- 次回東京定期演奏会　指揮者にインタビュー　小林 研一郎編 36
- インフォメーション 38
- 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団　名簿 39

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 754th SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第754回 東京定期演奏会



サントリーホール Suntory Hall

2023年10月13日(金)午後7時開演／14日(土)午後2時開演
7:00p.m., Friday, 13th & 2:00p.m., Saturday, 14th October, 2023

感染予防のご案内
詳しくはこちらを
ご覧ください▼

主　　催／公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
協　　賛／鹿島建設株式会社　三井不動産株式会社
表紙イラスト／小澤 一雄

後援：シンガポール共和国大使館
助成：文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術等総合支援事業（創造団体支援））
独立行政法人日本芸術文化振興会

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

■ 演奏会をお楽しみいただくために
演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。また手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

■ 電源OFF
アラームOFF　電源OFF

■ 声と拍手にご注意を
私語　せき

■ 周囲にご配慮を
身を乗り出さない　つばの広い／高さのある帽子

■ 音にご注意を
ビニール袋　飴の袋　マジックテープやファスナーの音　鈴などアクセサリーがついたストラップ　補聴器の音

■ 撮影禁止
録音禁止　録画禁止　演奏中の写真撮影禁止

【首席指揮者就任披露演奏会】

マーラー：交響曲第3番 二短調　約100分
Gustav MAHLER: Symphony No.3 in D-minor

休憩はございません。予めご了承ください。

指揮：カーチュン・ウォン［首席指揮者］
Conductor: Kahchun WONG, Chief Conductor

メゾ・ソプラノ：山下 牧子
Mezzo Soprano: YAMASHITA Makiko

女声合唱：harmonia ensemble　合唱指揮：福永 一博
Female Chorus: harmonia ensemble　Chorus master: FUKUNAGA Kazuhiro

児童合唱：東京少年少女合唱隊　合唱指揮：長谷川 久恵
Children Chorus: The Little Singers of Tokyo　Chorus master: HASEGAWA Hisae

コンサートマスター：田野倉 雅秋［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］
Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：門脇 大樹［日本フィル・ソロ・チェロ］
Solo Violoncello: KADOWAKI Hiroki, JPO Solo Violoncello

＊この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

©Angie Kremer

Conductor 指揮

カーチュン・ウォン
［首席指揮者］

Kahchun WONG, Chief Conductor

今秋より日本フィルハーモニー交響楽団 首席指揮者およびドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団 首席客演指揮者に、2024年9月より英国マンチェスターに本拠を置くハレ管弦楽団首席指揮者兼アーティスティック・アドバイザーへの就任が決定しているシンガポール出身のカーチュン・ウォンは2016年グスタフ・マーラー国際指揮者コンクールで優勝、その名を世界に知られることとなる。

2022年8月までニュルンベルク交響楽団首席指揮者を務め、これまでに、ニューヨーク・フィルハーモニック、ロサンゼルス・フィルハーモニック、クリーヴランド管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団を含む国内外の主要楽団との共演も果たす。

2019年、33歳という若さでシンガポールとドイツの文化交流並びにドイツ音楽文化の海外普及における献身的な取り組みと顕著な功績により、シンガポール出身の芸術家として初めてドイツ連邦大統領より功労勲章を与えられた。

2021年12月の日本フィルハーモニー交響楽団定期公演で演奏されたマーラー交響曲第5番のライブ録音CDが日本コロムビアよりリリースされている。

Mezzo Soprano メゾ・ソプラノ

山下 牧子

YAMASHITA Makiko

香川県出身。広島大学教育学部を経て東京藝術大学大学院音楽研究科声楽専攻修士課程修了。二期会オペラスタジオ42期マスタークラス修了。修了時に優秀賞受賞。第10回奏楽堂日本歌曲コンクール、第70回日本音楽コンクール声楽(オペラ部門)入選。第1回東京音楽コンクール声楽部門第1位。第72回、第73回日本音楽コンクール共に第3位入賞。平成27年度よんでん芸術文化奨励賞受賞。オペラでは、二期会《椿姫》フローラ、《ジュリアス・シーザー》タイトルロール、《蝶々夫人》スズキ、《イドメネオ》イダマンテ、《コジ・ファン・トゥッテ》ドラベッラ、《サロメ》ヘロディアス、日生劇場50周年・読売日響50周年・二期会創立60周年記念《メデア》(日本初演)クレオサ、新国立劇場《カヴァレリア・ルスティカーナ》ローラ、《ヴォツェック》マルグレート、《リゴレット》マッダレーナ、《蝶々夫人》スズキ等に出演する他、近年も新国立劇場《夜鳴きうぐいす》死神 /《イオランタ》マルタ、《ニュルンベルクのマイスタージンガー》マグダレーネ、《さまよえるオランダ人》マリー等を演じている。またコンサートでも堅実なテクニックに裏付けされた端正な歌唱は高く評価されており、主要オーケストラとのベートーヴェン「第九」、バッハ「ロ短調ミサ」「マニフィカート」、ヘンデル「メサイア」、ヴィヴァルディ「グローリア」、モーツァルト「レクイエム」「ミサ・プレヴィス」、デュルフレ「レクイエム」、マーラー「交響曲第2番<復活>」「交響曲第3番」や、チョン・ミョンフン指揮ロッシーニ「スターバト・マーテル」、A.バッティストーニ指揮ヴェルディ「レクイエム」等のソリストとしても活躍している他、NHKニューイヤーオペラコンサート等のメディアにも出演している。本年5月には日生劇場開館60周年記念《メデア》ネリスを演じ、絶賛を博した。二期会会員

Female Chorus 女声合唱

harmonia ensemble

2009年4月に、高水準の合唱演奏の実現による日本の合唱文化の発展を目的として結成されたプロフェッショナルの室内合唱団。ルネサンスから現代音楽までの幅広い合唱音楽をレパートリーとし、日本の作曲家への委嘱活動も積極的に行っている。また、海外公演を積極的に行い、日本の合唱音楽を世界へ発信している。第40回トゥール国際合唱コンクール(仏)グランプリ及び聴衆賞、第10回世界合唱シンポジウムに日本を代表して招聘。主催公演の他、全国各地の合唱祭への招待、芸術鑑賞教室、音楽教材のCD録音、BS-TBS「日本名曲アルバム」、NHK Eテレ「ららら♪クラシック」へのTV出演など、多岐に亘り活動している。2014-2016年IFCM(国際合唱連合)Official Ambassador(親善大使)。

©LSOT

Children Chorus 児童合唱

東京少年少女合唱隊

The Little Singers of Tokyo

ヨーロッパの伝統音楽に基づく音楽教育を目的とする日本初の本格派合唱団として1951年設立。グレゴリオ聖歌から現代作品までレパートリーは幅広く、同声から混声の合唱作品までをカバーする。松平頼暁、一柳慧、細川俊夫等への委嘱作品も多く手掛ける。6歳からの基礎クラスと15歳から19歳までの演奏グループ「コンサートコア」の他、混声合唱作品に対応する「カンマーコア」まで幅広い年齢構成で活動している。年2回の定期公演の他、1964年の訪米以来海外公演は33回を数える。国内外のオーケストラ、オペラ劇場との共演も多く、C.アバド指揮ベルリン・フィルをはじめR.ムーティ、F.ルイージとの共演では高い評価を得た。創立65周年プロジェクトではマカオとイタリアの各地で公演を実施。サン・ピエトロ大聖堂の新年ミサでフランシスコ・ローマ教皇のもと全世界の聖歌隊と平和祈願を捧げた。2021年に創立70周年を迎え、「70周年記念コンサートシリーズ2021-2023」を実施、最終公演を2023年7月にサントリーホールで開催。

プログラム・ノート 解説:澤谷 夏樹

首席指揮者への就任を内外に発する演奏会に、マーラーの大作を掛けるカーチュン・ウォンの気負いや如何にと、その心中を想像したくなる。ただ、この音楽家のこれまでの演奏姿勢からすると、気負いと言うよりは作品への愛着といった気持ちのほうが強そうだ。思わせぶりなところがないのに、通り一遍にならない指揮からは、作品への生真面目ながら暖かい眼差しがうかがえる。このたびの演奏会でもそんな真正直なアプローチが、一筋縄ではいかぬマーラーの作品世界を解きほぐしてくれるだろう。

■ マーラー:交響曲第3番 ニ短調

グスタフ・マーラー(1860-1911)は1888年の着手から6年かけて、交響曲第2番を完成させた。その翌年の1895年には、いっそう規模の大きいシンフォニーを計画し、ふた夏かけてそれを組み立てていくことになる。ハンブルク市立劇場の首席楽長として忙しく過ごしていたマーラーは、劇場の閉まる夏に、リンツとザルツブルクの中間にある小村シュタインバッハで作曲に勤しんだ。「日曜大工」ならぬ「夏季作曲家」だ。

マーラーは当初、『少年の魔法の角笛』所収の詩「天上の生活」に基づく声楽楽章を掉尾に置く、全7楽章の交響曲を構想していた。作曲家は全体及び各楽章にタイトルをつけ、明確なコンセプトを示してもいる。ただ、制作の最終段階で、第7楽章と各タイトルを削ってしまう(のちに最終楽章を第4交響曲に転用)。なぜこうした整理をおこなったのか、その理由は分からない。結果として標題のない、6楽章からなる、独唱と合唱付きの交響曲が生まれる。

第3番の各楽章に付されたタイトルは、時期により細かい違いを抱えながらも、一貫してこの曲のコンセプトを明確に示す。最終的に削除されたとはいえ、そのタイトルの示す基本理念は、現行の作品にもしっかりと息づいている。1902年6月9日の全曲初演で示されたとされるプログラムは以下の通りだ。

《夏の朝の夢》

第1部

序　奏　パン(牧神)は目覚める

第1楽章　夏が行進してくる
(バッカスの歩み)

第2部

第2楽章　野の花が私に語ること

第3楽章　森の動物が私に語ること

第4楽章　人間が私に語ること

第5楽章　天使が私に語ること

第6楽章　愛が私に語ること

第1部(第1楽章)で世界に夏がやってきて生命が芽生え、第2部(第2〜第6楽章)で植物、動物、人間が発展的に生じ、最後には「天上の生活」(第7楽章、初演時は削除)にいたる。この「進化論的展開」の中心は(削除されたにもかかわら

ず）第7楽章「天上の生活」である。コンセプト上の最終到達点であると同時に、各楽章を結びつける音楽的な連関の源にもなっているからだ。第1・3・5の各楽章には「天上の生活」に登場するモティーフと関係する要素がある。歌曲「天上の生活」の成立は1892年以前なので、95年にできた交響曲各楽章が歌曲の動機を引用していることになる。

つまり第3番は当初、タイトルを持ち、第7楽章をそなえ、その第7楽章を意味連関上も音楽連関上も「柱」とした交響曲だった。作曲家はそこから「柱」を抜いてしまう。それにより、いずれの連関も宙ぶらりんになってしまった。見方を変えればこれは、曲を一段、抽象化することで、標題音楽とは異なる方向性を持たせる（＝交響曲たらしめる）措置だったのかもしれない。

こうしたコンセプトの源泉はフリードリヒ・ニーチェ（1844-1900）の思想にある。第4楽章でアルトが歌う詩は、ニーチェの『ツァラトゥストラはこう言った』第4部「酔歌」の一節である。作品全体のタイトルは変遷した挙句、最後は取り除かれるが、いっときそれは「悦ばしい知識」とされていた。これは、ニーチェがその中で「永劫回帰」を唱えた著作の題そのものだ。

第1楽章の旧題「バッカスの歩み」のバッカスは、デュオニソスの別名。思想家は『悲劇の誕生』で、芸術の合理的ならざる力の象徴としてデュオニソスに言及する。マーラーは第1楽章の「バッカス（＝デュオニソス）の歩み」について次のように言う。「行進曲の速いテンポで、その咆哮はみるみるうちに近づき（中略）ついには狂喜乱舞の渦があなた方を飲み込んでしまう」（バウアー＝レヒナー『回想録』1896年7月4日の項）。このイメージは『悲劇の誕生』に登場する、サテュロス劇の合唱隊と一致する。人々を興奮のるつぼに落とし入れ、一体化させてしまう点で、両者は共通している。

とはいえ、マーラーがシンパシーを抱いていたのは、ニーチェの思想そのものというより、それを含む時代精神（ツァイトガイスト）のほうであったろう。若き日の作曲家は、汎ゲルマン主義的ナショナリズムを奉ずる思想的な集い「ペルナーシュトルファー・サークル」に属していた。ここで出会った仲間にヴィクトル・アードラーがいる。アードラーはのちにオーストリアの社会主義運動の指導者となる。ウィーンでメーデーのデモ行進を組織し、労働者の権利を擁護した。アードラーはデモ行進を単なる示威行動とするのではなく、労働者を巨大な運動の熱狂へと導くための「目覚めの呼び声」と考えていた。

マーラーは第１楽章冒頭のホルンの主題を「目覚めの呼び声」と称している。それにより生命が呼び覚まされ、行進をし、大挙して狂喜乱舞へといたる。この流れはまさに、アードラーが目指した労働運動の姿そのものだ。19世紀末ドイツ語圏の時代精神こそが、マーラーの交響曲第3番を貫く芯と言ってよい。

第1部

第1楽章　冒頭はホルン8本のユニゾン（目覚めの呼び声）。この旋律は学生歌『われらは立派な校舎を建てた』の引用とされる。やがて行進曲が聴こえてくる。この行進曲の終わりまでを第1主題部、オーボエの柔和な旋律が現れるところからを第2主題部としよう。ここまでが序奏とされる部分。

以後、第1主題部と第2主題部とが姿をさまざまに変えつつ交互に2度ずつ繰り返される。あえていえばソナタ形式と言えるが、その在り方は“夢”のようなものだ。夢の中では往々にして、環境は現実と変わらぬ姿をしているのにそこで生起する出来事は突拍子もない、ということがある。この楽章も同様で、ソナタ形式という現実的な環境の中に、突拍子もない楽想が盛り込まれている。

第2部

第2楽章　かつての交響曲（の楽章であるメヌエット）に対する追憶。ABABAの五部形式をとる。ただし、Aはabaの3部分からなるので、何度も同じことが繰り返される印象を受ける。

第3楽章　スケルツォ楽章。音楽は《若き日の歌》所収の歌曲〈夏の交代〉に基づく。トリオに2度、登場するポストホルンが特徴的。その旋律は民謡やリスト作品との関連が取り沙汰される。こちらは、自分が育った（しかしもう戻れない）ゲルマン世界への郷愁か。

第4楽章　アルトが登場し『ツァラトゥストラはこう言った』の「酔歌」を歌う。随所に第1楽章から引き継いだ楽想が顔をだす。以後、第6楽章まで続けて演奏される。

第5楽章　『少年の魔法の角笛』所収の詩「3人の天使が歌っていた」に基づく。児童合唱が「ビムバム」と歌い、鐘の音を模す。それを背景に「罪を自覚したペテロがイエスに憐れみを乞い、恩寵により救われる」ことをアルトと女声合唱が歌う。「私は十字架を踏み破った」の旋律は第１楽章の「目覚めの呼び声」に由来する。

第6楽章　アダージョ楽章。冒頭のヴァイオリンによる旋律をA、管楽器が合流しテンポを速める部分をB、第1楽章に由来する金管のメロディーをCとすると、ABCABCACAと続く。

楽器編成：アルト独唱、児童合唱、女声合唱、フルート4（ピッコロ持替4）、オーボエ4（イングリッシュ・ホルン持替1）、E♭管クラリネット2（クラリネット持替1）、クラリネット3（バス・クラリネット持替1）、ファゴット4（コントラ・ファゴット持替1）、ホルン8、トランペット4、ポスト・ホルン1、トロンボーン3、バス・トロンボーン1、テューバ1、ハープ2、ティンパニ2、グロッケン・シュピール、タンバリン、タムタム、トライアングル、シンバル、小太鼓、大太鼓、むち、鐘、弦楽5部。

歌詞対訳 訳：舩木 篤也

4. Zarathustras Mitternachtslied

Friedrich Nietzsche,
from „Also sprach Zarathustra“

O Mensch!
Gib acht!
Was spricht, die tiefe Mitternacht?
„Ich schlief, ich schlief -,
Aus tiefem Traum bin ich erwacht: -
Die Welt ist tief,
Und tiefer als der Tag gedacht.“

O Mensch!
„Tief ,
Tief ist ihr Weh -,
Lust - tiefer noch als Herzeleid:
Weh spricht: Vergeh!
Doch alle Lust will Ewigkeit -,
- Will tiefe, tiefe Ewigkeit!“

第4楽章 ツァラトゥストラの輪唱歌

フリードリヒ・ニーチェ
『ツァラトゥストラはかく語りき』より

おお人間よ！
よく聞け！
深い真夜中は何を語っているか？
「私は昏々と眠っていた、
深い夢から私はいま目覚めた。
この世は深い、
昼が考えた以上に深い！」

おお人間よ！
「深い、深いのだ！
この世の痛みは深い。
快(よろこ)びは ― 快びは心の奥底の苦しみよりも深い。
痛みは言う、消え去れ！ と。
だがあらゆる快びは永遠を求める、
深い、深い永遠を求める！」

5. Armer Kinder Bettlerlied

Achim von Arnim &
Clemens Brentano,
from „Des Knaben Wunderhorn“

Chor:
Bimm bamm, bimm, bamm, ...

Es sungen drei Engel einen süßen Gesang,
Mit Freuden es selig in den Himmel klang.
Sie jauchzten fröhlich auch dabei,
Daß Petrus sei von Sünden frei.

Und als der Herr Jesus zu Tische saß,
Mit seinen zwölf Jüngern

第5楽章 哀れな子らのもの乞う唄

アヒム・フォン・アルニム＆
クレメンス・ブレンターノ
『少年の不思議な角笛』より

合唱
びむ　ばむ　びむ　ばむ…

あるとき三人の天使が　愛らしい歌をうたっておりました
いかにも嬉しそうに　それは天上で浄らかな響きをふりまいていました
天使たちは愉しげに　歓びの声をあげて言いました
「ペテロの罪は晴れたよ！」

そう　イエスさまが食卓にお着きになり
十二人の弟子たちと最後の晩餐をおとりに

das Abendmahl aß,
Da sprach der Herr Jesus: „Was stehst du denn hier?
Wenn ich dich anseh', so weinest du mir.“

Alt:
„Und sollt' ich nicht weinen, du gütiger Gott“

Chor:
Du sollst ja nicht weinen!

Alt:
„Ich hab' übertreten die Zehn Gebot;
Ich gehe und weine ja bitterlich“

Chor:
Du sollst ja nicht weinen!

Alt:
„Ach komm und erbarme dich über mich.“

Chor:
Bimm bamm, bimm, bamm, ...

Hast du denn übertreten die Zehn Gebot,
So fall auf die Knie und bete zu Gott!
Liebe nur Gott in alle Zeit,
So wirst du erlangen die himmlische Freud!

Die himmlische Freud, die Selige Stadt;
Die himmlische Freud, die kein Ende mehr hat.
Die himmlische Freude war Petro bereit't
Durch Jesum und allen zur Seligkeit.

Bimm bamm, bimm, bamm, ...

なっていたときのこと
イエスさまはこう言われました「そこでいったい何をしておる？
私と目があうと　そんなに泣いたりして！」

アルト独唱
「泣くでないと仰るですか　こころ優しい神さま」

合唱
汝、泣くべからず　汝、泣くべからず

アルト独唱
「おいらはあの十戒を　破ったのでござります
『ペテロは行ってひどく泣く』のでござります」

合唱
汝、泣くべからず　汝、泣くべからず

アルト独唱
「どうかお願いです　おいらを憐れんでくださいまし！」

合唱
びむ　ばむ　びむ　ばむ…

「十戒を破ったのなら
ひざまづいてな　神さまに向かって祈れ
いつでも　ひたすらに神さまをお慕い申し上げることだ
そうすればおまえも　天上の喜びを手にすることだろう」

天上の喜び　それは浄福の都
天上の喜び　それは尽きることを知らない
天上の喜び　それはペテロにも与えられていた！
清らかな幸あれと　イエスさまはそれを　皆にお与えになったのです

びむ　ばむ　びむ　ばむ…

マーラーの孫娘のマリナ・マーラー様より ビデオメッセージをいただきました

親愛なるカーチュン
親愛なる日本フィルハーモニー交響楽団
そして日本の皆様

指揮者やオーケストラにとって 就任披露演奏会の作品選びは常に非常に重要な選択でありカーチュンがマーラー交響曲 第3番を選ばれたことに感激しています

カーチュンやオーケストラ また世界で最初にマーラーの音楽を聴き、愛し、理解した国のひとつである日本に最もふさわしい作品であり 歴史や美しさ 私的さを感じられる選択だと思います

自然との関わりも重要な選択だと思います
「自然界の歌い手」と自称するマーラーにとって自然は本質的なものでした

私たちは今 自然が劣化し過酷な状況であることに気づきその実態に大きな悲しみを抱いています

今こそマーラーに敬意を表し 何かを施す必要があると思いますが、先ずはカーチュンとオーケストラを祝福します
素晴らしいコンサートになると確信しています

残念ながら遠距離のため会場には駆けつけられませんが、私の心は皆様と共にあります

マーラーの交響曲 第3番を選ばれたのは、この素晴らしいオーケストラと素晴らしい国で絆を築こうとする心が選択したのだと思います

皆様に熱い声援と感謝の意を捧げます

ごきげんよう

動画はこちらから ▶
URL：https://youtu.be/v0rOAIAT_2g

これからの カーチュン・ウォン演奏会

第392回 横浜定期演奏会
2023年11月25日（土）17：00開演
横浜みなとみらいホール

S￥8,000 A￥6,500 B￥6,000 C￥5,000
P 完売 Ys（25歳以下）￥1,500

第248回 芸劇シリーズ
2023年11月26日（日）14：00開演
東京芸術劇場

ピアノ：福間 洸太朗

小山清茂：管弦楽のための木挽歌
プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第3番
チャイコフスキー：交響曲第6番《悲愴》

S￥7,000 A￥5,500 B￥5,000 C￥4,000
Gs（65歳以上）￥4,000 Ys（25歳以下）￥1,500

第756回 東京定期演奏会
2023年12月8日（金）19：00開演
9日（土）14：00開演
サントリーホール

マリンバ：池上 英樹

外山雄三：交響詩《まつら》
伊福部昭：オーケストラとマリンバのための《ラウダ・コンチェルタータ》
ショスタコーヴィチ：交響曲第5番

S￥8,000 A￥6,500 B￥6,000 C 完売
P￥4,000 Ys（25歳以下）￥1,500

第394回 横浜定期演奏会
2024年1月20日（土）17：00開演
横浜みなとみらいホール

第403回 名曲コンサート
2024年1月21日（日）14：00開演
サントリーホール

ピアノ：上原 彩子

伊福部昭：舞踊曲《サロメ》より「7つのヴェールの踊り」
ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲
ベルリオーズ：幻想交響曲

S￥8,000 A￥6,500 B￥6,000 C￥5,000
P￥4,000（1/20完売）
Gs（65歳以上）￥5,000（1/21のみ）
Ys（25歳以下）￥1,500

第757回 東京定期演奏会
2024年1月26日（金）19：00開演
27日（土）14：00開演
サントリーホール

ピアノ：児玉 麻里、児玉 桃

チナリー・ウン：グランド・スパイラル
コリン・マクフィー：タブー・タブーアン
プーランク：2台のための協奏曲
ドビュッシー：交響詩《海》

S￥8,000 A￥6,500 B￥6,000 C 完売
P￥4,000 Ys（25歳以下）￥1,500

第760回 東京定期演奏会
2024年5月10日（金）19：00開演
11日（土）14：00開演
サントリーホール

マーラー：交響曲第9番

S￥8,000 A￥6,500 B￥6,000 C￥5,000
P￥4,000 Ys（25歳以下）￥1,500

2023年12月14日（木）発売

特別演奏会
2024年5月25日（土）14：00開演
昭和女子大学人見記念講堂

S￥6,000 A￥4,500 B￥3,500
Gs（65歳以上）￥3,500 Ys（25歳以下）￥1,500

2024年2月14日（木）発売

第404回 名曲コンサート
2024年5月26日（日）14：00開演
サントリーホール

ピアノ：小菅 優

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番
チャイコフスキー：交響曲第5番

S￥8,000 A￥6,500 B￥6,000 C￥5,000
P￥4,000 Gs（65歳以上）￥5,000
Ys（25歳以下）￥1,500

2024年2月14日（木）発売

第255回 芸劇シリーズ
2024年6月2日（日）14：00開演
東京芸術劇場

坂本龍一作品等を演奏予定

S￥7,000 A￥5,500 B￥5,000 C￥4,000
Gs（65歳以上）￥4,000 Ys（25歳以下）￥1,500

2024年2月14日（木）発売

あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ

岩手県、福島県で「東北の夢プロジェクト」を開催しました

8月に岩手県、福島県で開催した「東北の夢プロジェクト」では今年も子どもたちの素晴らしい文化活動を多くの方々に紹介し、子どもたちと「夢の舞台」を作り上げました。

2019年8月に「子どもたちの夢と未来、笑顔を応援する」を目指してスタートしたこのプロジェクトは岩手県では今回で４回目となり、共演者に滝沢中央小学校特設合唱部、そして夏井大梵天神楽（夏井中学校）を迎えました。いずれも地域ぐるみ・学校ぐるみで支えられた地域の文化です。また、福島県では地震やコロナ感染拡大の影響を乗り越えて今年1月にようやく開催が実現し、2回目となった今回は相馬郡新地町の福田十二神楽保存会（福田小学校）と、FTVジュニアオーケストラを迎えました。

▲8月2日トーサイクラシックホール岩手

▲8月19日けんしん郡山文化センター

▲福島公演 出演者 集合!

▲岩手県との連携協定調印式より

コンサートに先駆けて日本フィルのメンバーが各学校を訪問し、互いの活動を知る「交流事業」を実施しました。日本フィルによる室内楽の演奏や音楽のお話に加え、日本フィルのメンバーが神楽を体験したり、一緒に歌を作るワークショップを行うなど、毎回工夫を凝らした内容で子どもたちと体験を共有し、コンサート本番に向けて思いを一つにしました。待ちに待ったコンサートでは大きな舞台に臨む子どもたちの真剣なまなざしと堂々たる姿に、会場全体から大きな拍手が贈られました。舞台袖では、大舞台を見事に務めあげた子どもたちが、歓びと興奮を爆発させていました。

▲FTVジュニアオーケストラ

▲滝沢中央小学校

▲夏井中学校

▲福田小学校

日本フィルは東日本大震災の発生以降、「音楽家として何ができるか」を自らに問い掛け「被災地に音楽を」の活動を12年間330回以上にわたって継続してまいりました。その活動が高く評価され、昨年7 月には第16 回後藤新平賞を受賞いたしました。多くの皆様からのご支援とご理解の賜物にほかならず、心より感謝申し上げます。「東北の夢プロジェクト」では子どもたちの文化活動支援を通じて東北各地の地域コミュニティを元気づけ、復興のさらなる後押しの一助となることを目指しています。これまでの活動の成果として、5月には日本フィルの活動に賛同頂いている岩手県と連携協定を締結し、岩手県と岩手県芸術文化協会、岩手日報社、日本フィルからなる実行委員会を立ち上げました。

これまで以上に地域と一体となった事業として文化発信・交流の場づくり、そして子どもたちの活躍する姿を多くの方にお届けしてまいります。皆様のさらなるご理解とご協力を、心よりお願い申し上げます。

全国保証株式会社
for your dream and happiness

私たちは日本フィル「東北の夢プロジェクト」を応援しています。

全国保証株式会社は1981年に設立された、住宅ローン保証を中核とした信用保証事業を全国で展開する国内最大手の独立系保証会社です。
全国各地の金融機関と連携し、多くのお客様のニーズや要望に応えています。
https://www.zenkoku.co.jp

Playback プレイバック

8月～9月の公演を
振り返ります

PHOTO 1 夏休みコンサート2023は今年もピアノとバレエの選べるプログラム。東京、神奈川、埼玉、千葉、京都で、皆様へお届けしました。そしてコロナ禍を経て、ようやく「みんなで歌おう」が大復活！ホールに響き渡る子供たちの声に元気をもらいました。

PHOTO 2 8月2日は楽しいオーケストラin岩手、そして19日はin福島でした。岩手公演は夏井大梵天神楽（久慈市立夏井中学校）、滝沢市立滝沢中央小学校 特設合唱部の皆さん、福島公演は福田十二神楽保存会（新地町）、FTVジュニアオーケストラ（指揮：小川裕）の皆さんと一緒に、子供たちの笑顔が輝く夏の夢舞台をお届けしました。（写真左：岩手公演 夏井大梵天神楽の舞台より、右：福島公演 第4部みんなでうたおう「ヘイヘイ！」）

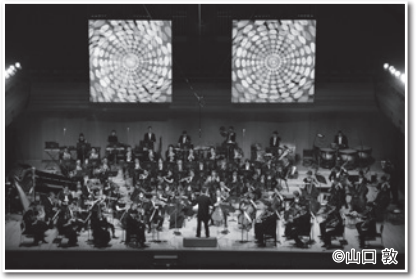


PHOTO 3 8月23日落合陽一×日本フィルプロジェクトも7回目。今年はAIの技術を駆使し「帰納する音楽会」をお届けしました。今年は11月と2月のサテライト公演へと続きます。

PHOTO 4 9月1日2日は東京定期演奏会。シーズンオープニングです！新シーズン開幕は恒例の山田和樹さんと。前半はアイネ・クライネ・ナハトムジーク＆J.S.バッハのシャコンヌを。後半はウォルトン！管楽器が大活躍。首席ホルンの信末と首席オーボエ杉原、山田和樹マエストロのスリーショットをどうぞ。*

*印のアーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
https://members.tvuch.com

想像を、チカラに。

人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

あれもこれも、で
いい街にしよう。

たとえば、伝統と革新。都市と自然。
経済と文化。住む人と働く人。
あれかこれか、ではなく、あれもこれも。
私たち三井不動産は、
異なる概念やさまざまな人を結びつけて、
イノベーションや挑戦、
驚きや希望や愛といった、
新しい価値を次々と街に生み出していきたい。
そして街に集う人たちと一緒に、
その先の日常をつくっていきたい。
街は人とともに。
三井不動産の「&」の街づくりは続きます。

三井不動産
MITSUI FUDOSAN

最高級のアコースティックを誇る

杉並公会堂
Suginami Koukaidou

日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。

日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より

春休みオーケストラ探検より
楽器体験

公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
http://www.suginamikoukaidou.com/
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。
しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長　平井 俊邦

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額　を
メール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】
三菱UFJ銀行　高円寺支店（支店コード：155）
普通預金　0242402
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

■オンライン寄付

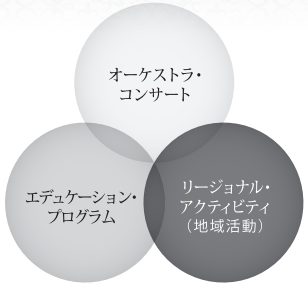
日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右のQRコードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有
日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。（敬称略）

特別会員　株式会社シェルター 代表取締役会長　木村 一義

パトロネージュ　杉本 功　東京都 ／ 真野 美千代　東京都 ／ 吉江 健志　千葉県 ／ Max Wong ／ 匿名2名

日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

パトロネージュ［個人寄付会員］

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費：3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待（1割引）など様々な特典があります。
年会費：1万円

特別会員［法人寄付］

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ：日本フィル事務所 TEL03-5378-6311（10-18時、土日祝日休）

日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス
代表取締役社長 舩越 真樹
株式会社アイレ 代表取締役社長 荒江 健
アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫
赤坂維新號 代表取締役社長 鄭 東静
あすか製薬株式会社 代表取締役社長 山口 惣大
株式会社アトックス 代表取締役社長 矢口 敏和
株式会社アドービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田 昭司
イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世
株式会社泉商会 代表取締役社長 八方 淑夫
株式会社泉放送制作 代表取締役社長 日下部恵一
磯野不動産株式会社 代表取締役社長 磯野 計一
稲畑産業株式会社 相談役 稲畑 勝雄
株式会社インフォマート 代表取締役社長 中島 健
株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇
内野株式会社 代表取締役社長 内野 信行
宇部エクシモ株式会社 代表取締役社長 古賀 源二
株式会社ＡＩＴ 代表取締役社長 大熊 克美
ABCシステム株式会社 代表取締役社長 児玉 光宏
株式会社エイブル＆パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂
株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋 常夫
NGB株式会社 代表取締役社長 宮﨑 潔
エヌビーエス株式会社 代表取締役会長 飯嶋 一晃
株式会社エルイーテック 代表取締役社長 坂田 洋一
エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治
大隅ミート産業株式会社 代表取締役社長 小森 浩一
株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎

岡三証券株式会社
小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕
株式会社ONODERA GROUP
代表取締役会長兼社長 小野寺裕司
公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内 義彦
株式会社カカクコム 代表取締役社長 畑 彰之介
鹿島建設株式会社 代表取締役会長 押味 至一
鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本 和雄
鹿島道路株式会社 代表取締役社長 吉田 英信
株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎
株式会社 歌舞伎座 代表取締役社長 安孫子 正
株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂
社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文
川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己
北野建設株式会社 代表取締役会長兼社長 北野 貴裕
キッコーマン株式会社
代表取締役社長COO 中野祥三郎
キヤノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗冨士夫
キユーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 髙宮 満
株式会社協和日成 代表取締役社長 川野 茂
キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長 磯崎 功典
株式会社きんでん 取締役社長 上坂 隆勇
株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次
グローブシップ株式会社 代表取締役社長 矢口 敏和
京王重機整備株式会社 代表取締役社長 寺田雄一郎
株式会社京王設備サービス 取締役社長 梁瀬 哲夫
京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村 智史

京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣 幸宏
株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛
株式会社興建社 代表取締役 水島 隆明
コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和
株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸
株式会社コバヤシ 代表取締役 小林 達夫
コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄
株式会社コトブキ 代表取締役社長 深澤 幸郎
株式会社コンサートサービス 代表取締役 佐藤 修悦
佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一
三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一
山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 新浪 剛史
三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸
ジーエルサイエンス株式会社 取締役社長 長見 善博
ジェネロ株式会社 代表取締役 竹内 大志
株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三
澁谷工業株式会社 取締役社長 澁谷 英利
株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社 代表取締役社長 井上 和幸
株式会社集英社 代表取締役社長 廣野 眞一
株式会社シェルター 代表取締役会長 木村 一義
ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本 達也
新菱冷熱工業株式会社 代表取締役社長 加賀美 猛
株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上 亮
株式会社ジンテック 代表取締役 柳 秀樹
杉山商事株式会社 取締役社長 杉山 健
住友ベークライト株式会社 代表取締役社長 藤原 一彦
株式会社スプリックス 代表取締役社長 常石 博之

全国保証株式会社 代表取締役社長 青木 裕一
第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一
株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子
大正製薬株式会社 取締役会長 上原 明
大同生命保険株式会社 代表取締役社長 北原 睦朗
大日本除虫菊株式会社 代表取締役社長 上山 直英
大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久
高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人
千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 森岡 寛司
千代田化工建設株式会社
代表取締役会長兼社長 榊田 雅和
株式会社千代田テクノル 代表取締役会長 細田 敏和
塚本總業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清
ディアンドデパートメント株式会社
代表 ナガオカ ケンメイ
DM三井製糖株式会社
学校法人帝京大学 理事長 冲永 佳史
株式会社T&Aマネジメント 代表取締役 長田忠千代
THK株式会社 代表取締役社長 寺町 彰博
株式会社電通 代表取締役 社長執行役員 榑谷 典洋
東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川 毅
株式会社東急コミュニティー 取締役社長 木村 昌平
東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 広瀬 伸一
株式会社東京交通会館 代表取締役社長 興野 敦郎
東京都杉並区 区長 岸本 聡子
東京美装興業株式会社 代表取締役社長 八木 秀記
東洋熱工業株式会社 代表取締役社長 谷口 昌伸
戸田建設株式会社 代表取締役会長 今井 雅則

学校法人東京音楽大学　理事長　丸山恵一郎
株式会社永田音響設計　代表取締役社長　小口　恵司
株式会社永谷園ホールディングス
代表取締役会長　永谷栄一郎
株式会社ナミキ　代表取締役会長兼社長　並木　洋一
日総工産株式会社
代表取締役社長執行役員 兼 CEO　清水　竜一
日鉄興和不動産株式会社　代表取締役社長　三輪　正浩
株式会社ニフコ　代表取締役会長　山本　利行
日本精工株式会社　取締役会長　内山　俊弘
日本製鉄株式会社　代表取締役社長　橋本　英二
日本電子株式会社
代表取締役会長 兼 取締役会議長　栗原権右衛門
日本パーカライジング株式会社
株式会社日本マイクロニクス
代表取締役社長　長谷川正義
株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長　萩原　吉晃
根本特殊化学株式会社　代表取締役社長　根本美恵子
パイオニア株式会社
代表取締役兼社長執行役員　矢原　史朗
ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長　浦上　博史
株式会社博報堂　代表取締役社長　水島　正幸
ハナマルキ株式会社　代表取締役社長　花岡周一郎
パンパシフィック・カッパー株式会社
代表取締役社長　堀　一浩
阪和興業株式会社　代表取締役社長　中川　洋一
東日本住宅株式会社　代表取締役　桃野　直樹
非破壊検査株式会社　代表取締役社長　山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長　清水　雄也
株式会社ファミーユ　代表取締役　新庄眞帆子

富国生命保険相互会社　代表取締役社長　米山　好映
富士急行株式会社　代表取締役社長　堀内光一郎
富士テレコム株式会社　代表取締役社長　西田　孝一
一般財団法人 藤本育英財団
古河産業株式会社　代表取締役社長　伊藤　啓真
合同会社ベルファーマシー　代表社員　前島　景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社
代表取締役社長　池田　孝資
株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長　吉村　隆
本田技研工業株式会社
取締役 代表執行役社長　三部　敏宏
株式会社牧野フライス製作所
取締役社長　宮崎正太郎
マネックスグループ株式会社
代表執行役　清明　祐子
株式会社丸井グループ　代表取締役社長　青井　浩
株式会社丸の内よろず　取締役社長　中村　正博
丸美屋食品工業株式会社　代表取締役社長　阿部豊太郎
株式会社三井住友銀行　頭取CEO　髙島　誠
三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長　古賀　博文
三井不動産株式会社　代表取締役会長　菰田　正信
株式会社三越伊勢丹アイムファシリティーズ
代表取締役会長　飯嶋　庸夫
株式会社三越伊勢丹ホールディングス
特別顧問　石塚　邦雄
三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員　久井　大樹
三菱オートリース株式会社
代表取締役社長　中野　智

三菱ガス化学株式会社　代表取締役社長　藤井　政志
三菱地所株式会社　執行役社長　中島　篤
三菱自動車工業株式会社
取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者　加藤　隆雄
三菱重工業株式会社　取締役社長　泉澤　清次
三菱倉庫株式会社　相談役　宮崎　毅
株式会社三菱UFJ銀行　頭取　半沢　淳一
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
取締役社長 兼 グローバルCEO　小林　真
武蔵商事株式会社　代表取締役　宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長　永島　英器
株式会社明和住販流通センター
代表取締役　塩見　紀昭
メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役　谷川ひとみ
株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長　我妻まどか
株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長　牧　寛之
森社会保険労務士事務所　所長　森　康之
株式会社ヤクルト本社　相談役名誉会長　堀　澄也
山崎製パン株式会社
UBE株式会社　取締役会長　山本　謙
ユウキフーヅシステム株式会社
代表取締役社長　田中　秀和
横河電機株式会社
米持建設株式会社　代表取締役　米持　大介
リガク・ホールディングス株式会社
取締役会長　志村　晶
株式会社リョーサン
代表取締役社長執行役員　稲葉　和彦

株式会社Rings　代表取締役　矢部　和広
株式会社リンレイ　代表取締役社長　鈴木　信也
ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員　松本　功

匿名5名

（2023年10月1日現在・50音順・敬称略）

パトロネージュご芳名

会田　雅美　東京都
明田　重樹　東京都
浅野　純次　埼玉県
朝吹　英和　東京都
厚田　理郎　東京都
阿部　俊彰　神奈川県
荒井　昇　東京都
荒木　秀隆　東京都
荒蒔康一郎　東京都
有江　純子　神奈川県
有手　千麻　埼玉県
安西祐一郎　東京都
安藤　光一　東京都
飯田　桂子　東京都
飯田　惠司　東京都
飯田　憲　東京都
家近　茂　東京都
家近　信子　東京都
五十嵐重雄　東京都
池浦　慧　東京都
池田　博　東京都
池野　隆光　東京都
池谷　光司　東京都
伊佐山建志　東京都
石澤　卓志　千葉県
石塚　邦雄　東京都
石津　寿惠　東京都
石橋　秀雄　神奈川県
伊藤　貴博　東京都
伊藤　好彦　東京都
伊藤　昌司　東京都
井上　俊信　埼玉県
井上　直人　東京都
井上　浩良　東京都
岩瀬　順子　神奈川県
岩田　達明　静岡県
上野悦子・陽子　東京都
植村　昭三　東京都
宇賀神裕子　神奈川県
臼井　潤　東京都
内村　恒彦　神奈川県
江口　和廣　東京都
江口　麗子　東京都
遠藤　滋　神奈川県
大上二三雄　東京都
大久保　昇　神奈川県
大島　剛　埼玉県
大竹　広明　神奈川県
太田　五郎　神奈川県
太田　達男　千葉県
大塚　宣夫　東京都
大藤　裕康　埼玉県
大森　京太　東京都
岡本　晋　東京都
岡田　尚子　埼玉県
岡田　雅史　神奈川県
奥林　群司　東京都
尾澤　弘久　神奈川県
尾上　洋子　東京都
小野寺けい子　岩手県
小野寺健一　岩手県
小幡　尚孝　東京都
小原　道生　東京都
折田　昌子　東京都
風間　沙織　神奈川県
賀澤　裕三　福島県
鹿島　英裕　東京都
片貝　英重　東京都
片山　英二　東京都
桂　史子　東京都
加藤　壹康　静岡県
加藤　丈夫　東京都
加藤ひろみ　東京都
加藤　洋一　東京都
加藤　頼宣　東京都
金子　修　埼玉県
金子　肇　千葉県
上條　貞夫　東京都
上條　淑子　東京都
香山　和子　神奈川県
川合　孝一　千葉県
川畑　雅義　東京都
河田　義宏　東京都
菅野　治幸　神奈川県
菊池　和美　東京都
喜多𡈼久江　東京都
北村　篤嗣　埼玉県
北村　裕　神奈川県
木村　惠司　神奈川県
桐本　明子　東京都
草刈　隆郎　東京都
久野　哲男　千葉県
熊谷　朝子　東京都
倉谷　宏樹　東京都
栗原真知子　埼玉県
畔柳　信雄　東京都
甲賀　一宏　埼玉県
好士﨑稔子　東京都
胡口　靖夫　東京都
小林　和夫　東京都
小林こずえ　東京都
小林　裕美　東京都
小林　容子　東京都
駒見　俊彦　東京都
五味　康昌　神奈川県
酒井　伸　長野県
酒巻　英俊　東京都
定形　哲　神奈川県
佐藤　武男　東京都
佐藤　寛之　東京都
佐藤　正昭　東京都
座間　淑美　神奈川県
澤井　敏雄　東京都
島田　精一　東京都
島田　晴雄　東京都
清水　幸雄　東京都
下河辺美知子　東京都
下田　英一　東京都
生島　貴司　千葉県
新庄真帆子　大阪府
晋友会合唱団　東京都
須賀　克敏　神奈川県
菅　千太郎　東京都
杉本　功　東京都
杉山　秀子　東京都
杉山　浩明　東京都
鈴木　昌子　神奈川県
鈴木　祐二　東京都
住野　公一　東京都
関　兼英　東京都
妹尾　絲子　東京都
仙石　通泰　東京都
仙田　厚毅　千葉県
宗　神子　大分県
染野　郁郎　東京都
空田　幸徳　東京都
髙井　延幸　神奈川県
髙木　宏忠　東京都
高須　幸雄　東京都
髙田　信子　東京都
髙橋　信喜　東京都
武岡　哲郎　東京都
竹中富知男　東京都
田中稀一郎　東京都
田仲　博幸　東京都
田中　將介　神奈川県
田辺三基男　東京都
田村　一　山梨県
田村　浩章　東京都
塚本　和久　東京都
塚本　美幸　東京都
辻　雅夫　東京都
蔦井　厚伸　東京都
津田　義久　東京都
常石　博之　東京都
角田　峻一　東京都
積田　孝一　東京都
d日本フィルの会
寺澤　佳代　東京都
東京フロイデ合唱団
東京都
東瀬　朗　新潟県
時枝　直満　東京都
徳田　陽一　東京都
外山　雄三　東京都
中尾　誠利　神奈川県
ナガオカケンメイ　東京都
中島　奈穂　東京都
中島美知子　東京都
長瀬　雅則　東京都
中園　和博　東京都
仲田　喜義　東京都
中西　泉　東京都
永野　琢夫　東京都
中村　公一　東京都
中村　禎良　東京都
中本　逸郎　東京都
那須　雄治　東京都
棗　年紀・綾　東京都
新倉　啓介　東京都
西澤　豊　東京都
西村　敬子　京都府
西村　醇子　神奈川県
日本フィルハーモニー
協会所沢支部
埼玉県
二村　英之　東京都
布村　清美　東京都
沼口　元彦　東京都
根本　直之　千葉県
野谷　文昭　東京都
箱崎　一彦　千葉県
蓮見　正純　東京都
濱田　尚人　東京都
原　俊　千葉県
原　幸男　静岡県
針谷　博史　東京都
日髙　好男　東京都
平井　邦子　神奈川県
平田　邦夫　神奈川県
平田　正　神奈川県
平林　直哉　東京都
広瀬　勝貞　大分県
広瀬　晴子　神奈川県
深沢　茂実　神奈川県
福井　英次　東京都
福田　昭夫　東京都
藤井　裕一　東京都
藤沢　薫　東京都
藤本由紀子　東京都
藤原　真也　東京都
古瀬　明弘　東京都
星　桂太朗　東京都
前田　耿史　神奈川県
前田圭一郎　千葉県
牧野　澄夫　東京都
正木　信汎　東京都
増田　文彦　神奈川県
松尾　東京都
松田　譲　東京都
松村　美希　東京都
松本　信義　東京都
真野美千代　東京都
三木恵美子　神奈川県
三木　繁光　東京都
峯島　茂之　東京都
宮川　輝男　千葉県
宮本　裕二　兵庫県
武藤　雄二　埼玉県
村上　純子　埼玉県
村上　洋美　東京都
村上　泰郎　東京都
持田　泰　東京都
元永　徹司　神奈川県
森　稔樹　神奈川県
森　宏之　神奈川県
森川　智之　神奈川県
八木　一郎　山梨県
矢口　敏和　千葉県
矢倉　俊紀　東京都
谷野　剛　東京都
山上　典彦　東京都
山口　幸子　東京都
山口　仁栄　東京都
山口　達之　長崎県
山口みどり　東京都
山越　章弘　長野県
山下　芳広　北海道
山田　敏之　神奈川県
山田　宏己　東京都
山村　隆　東京都
山村　美絵　東京都
山本　高稔　東京都
油井　直次　東京都
横川　直　東京都
吉江　健志　千葉県
吉川　美保　東京都
吉田　知世　東京都
吉谷恵美子　神奈川県
吉村　真幸　埼玉県
吉村　匡則　東京都
若林　昭子　東京都
渡辺　敦郎　東京都
渡辺　和子　東京都
渡邉規久雄　東京都
渡邉　直　東京都
渡邊　裕志　山口県
Max Wong
M.K.
匿名45名

（2023年9月10日現在
50音順・敬称略）

日本フィルハーモニー協会　維持会員ご芳名

青木　孝
青木　隆
赤星　弥生
荒井　隆志
有田　正治
石田　尚身
石田　英雄
伊藤　正明
岩崎　貞明
海野　尚久
大塚　宏二
小田倉　正
柏崎　和枝
加藤　明
金本　順子
神谷　薫
萱場　基
岸田　正博
北宮千恵子
木村　繁
倉田　茂
蔵貫　義朗
小島　鈴枝

斎木　典子
坂本　博志
相良　幸男
佐々木忠義
佐藤　雅道
佐藤　安雄
澤口佳乃子
清水　浩憲
下山　泰彦
菅原　章文
鈴木　重澄
鈴木　重行
鈴木　富美
住江　慶子
隅田　真
高津　正徳
武井　新
武田　幸子
多田　栄一
田中　諄
坪井　憲治
東保裕の介
富澤　裕

富田　節子
永井　福枝
長沢　光子
永田　康
中山　泰子
野田　孝
野中　和行
羽生　賢次
早川征一郎
深沢　茂実
藤井　行雄
藤川　寿彦
藤村　文二
古川　武志
古瀬　明弘
本堂　毅
前島　景子
増田　文彦
松井　務
皆川　文弘
三好　敦生
民放労連関東地方連合会
山下　芳広

渡辺　勝次
渡辺　政則

（2023年8月30日現在
五十音順・敬称略）

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC
クラシカルミュージック

https://members.tvuch.com

Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1,000円で3ヵ月間何度でもご視聴いただけます（販売期間は6ヶ月です）。

まずはID登録! メールアドレスとパスワードのみで簡単！

4月29日　東京定期演奏会
指揮:ピエタリ・インキネン ソプラノ:ヨハンナ・ルサネン バリトン:ヴィッレ・ルサネン
男声合唱:ヘルシンキ大学男声合唱団、東京音楽大学
シベリウス:《クレルヴォ交響曲》

5月12日　東京定期演奏会　指揮:カーチュン・ウォン チェロ:佐藤 晴真
ミャスコフスキー:交響曲第21番《交響幻想曲》
芥川也寸志:チェロとオーケストラのための《コンチェルト・オスティナート》
ヤナーチェク:シンフォニエッタ

5月19日　さいたま定期演奏会　指揮:ピエタリ・インキネン ヴァイオリン:成田 達輝
シベリウス:交響詩《フィンランディア》、交響曲第2番
ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲

5月21日　名曲コンサート
指揮:ピエタリ・インキネン ソプラノ:森谷 真理 アルト:池田 香織 テノール:宮里 直樹
バリトン:大西 宇宙 合唱:東京音楽大学
シベリウス:交響詩《タピオラ》、ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》

6月9日　東京定期演奏会　指揮:大植 英次 ピアノ:阪田 知樹
プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第2番、チャイコフスキー:交響曲第6番《悲愴》

7月7日　東京定期演奏会
指揮:広上 淳一 カニオ:笛田 博昭 ネッダ:竹多 倫子 トニオ:上江 隼人 ペッペ:小堀 勇介
シルヴィオ:池内 響 合唱:東京音楽大学 児童合唱:杉並児童合唱団
レオンカヴァッロ:歌劇《道化師》

9月1日　東京定期演奏会　指揮:山田 和樹
モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジーク
J.S.バッハ（齋藤秀雄編曲）:シャコンヌ
ウォルトン:戴冠式行進曲《宝玉と勺杖》、交響曲第2番
11月30日まで販売

10月14日　東京定期演奏会
指揮:カーチュン・ウォン メゾ・ソプラノ:山下 牧子 女声合唱:harmonia ensemble
児童合唱:東京少年少女合唱隊
マーラー:交響曲第3番

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

日本フィルハーモニー交響楽団

2023 第九特別演奏会

指揮：広上 淳一［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］

12/16（土）17:00
［ 横浜みなとみらいホール ］
【第393回横浜定期演奏会】

12/17（日）14:00
［ サントリーホール ］

ソプラノ：竹下 みず穂　アルト：但馬 由香
テノール：工藤 和真　バリトン：池内 響
合唱：東京音楽大学（12/16）
日本フィルハーモニー協会合唱団（12/17）

ケルビーニ：歌劇《アナクレオン》序曲
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

©山本 倫子

指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］

12/21（木）19:00
［ 横浜みなとみらいホール ］

12/22（金）19:00
［ サントリーホール ］

12/25（月）19:00
［ 東京芸術劇場 ］

12/26（火）19:00
［ 東京芸術劇場 ］

12/27（水）19:00
［ 東京芸術劇場 ］

パイプオルガン：石丸 由佳
ソプラノ：小川 栞奈（12/21～25）
市原 愛（12/26、27）
アルト：山下 牧子
テノール：錦織 健（12/21～25）
笛田 博昭（12/26、27）
バリトン：大沼 徹（12/21、25）
青戸 知（12/22）
青山 貴（12/26、27）
合唱：東京音楽大学（12/21、22）
武蔵野合唱団（12/25）
日本フィルハーモニー協会合唱団（12/26、27）

J.S.バッハ：
高き天よりわれは来たれ
主よ、人の望みの喜びよ
トッカータとフーガBWV565
（以上3曲パイプオルガン独奏）
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

チケット料金（全席指定・消費税込）	S ¥9,000　A ¥7,500　B ¥7,000　C ¥6,000 Ys（25歳以下）¥3,500　Gs（65歳以上）¥6,000（12/16除く）	好評発売中

お申込み　日本フィル・サービスセンター　TEL：03-5378-5911（平日10時-17時）
日本フィルeチケット♪　https://eticket.japanphil.or.jp

❖ 新入団員紹介 ❖

新入団員に11の質問！

トランペット
犬飼 伸紀 INUKAI Nobuki

トランペット・セクションに新たに入団いたしました犬飼（いぬかい）伸紀（のぶき）をご紹介いたします。

1	誕生日	8月5日
2	私はこんな人	狭く深くなタイプ
3	楽器を始めたきっかけ	吹奏楽の先生の勧誘に迫力があったから
4	音楽家になっていなかったら？	悲しくて毎日泣いちゃう
5	時間があったら何をしたい？	作曲に挑戦！
6	リラックス方法は？	コーヒー、部屋の模様替え
7	好きな映画を一つ教えてください	ハリポタ
8	座右の銘があれば	嘘はバレるからつかない
9	日本フィルに入団が決まった瞬間の気持ちを一言で	ホッとしました！
10	ずばり、今のところ日本フィルはこんなオケだと思う	演奏がとってもエレガント！ 一人ひとりはぶっ飛ん…コホン、個性いっぱい！

11 最後にお客様へのメッセージをお願いいたします

応援して下さりありがとうございます！新参者ですが、自分ももともと日本フィルのファンなので、一員になれた喜びを胸に精一杯頑張ります。

❖ 新入団員紹介 ❖

新入団員に11の質問！

トロンボーン

笠間 勇登 KASAMA Yuto

トロンボーン・セクションに新たに入団いたしました
笠間勇登（かさまゆうと）をご紹介いたします。

1	誕生日	4月7日
2	私はこんな人	行き当たりばったりな人
3	楽器を始めたきっかけ	吹奏楽を聴いた時にティンパニに一目惚れして吹奏楽部に入部したこと
4	音楽家になっていなかったら？	医療や福祉に携わる仕事
5	時間があったら何をしたい？	世界中を旅行したい
6	リラックス方法は？	自律訓練法
7	好きな映画を一つ教えてください	シンドラーのリスト
8	座右の銘があれば	感謝、謙虚、感動を忘れないこと
9	日本フィルに入団が決まった瞬間の気持ちを一言で	ありがとうございます！
10	ずばり、今のところ日本フィルはこんなオケだと思う	穏やかかつ情熱を持ったオーケストラだと思う

11 **最後にお客様へのメッセージをお願いいたします**

日々音楽に触れられる事に感謝し、日本フィルの一員としてお客様に楽しんでいただけるよう精進してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

❖ 新入団員紹介 ❖

新入団員に11の質問！

ヴァイオリン

松川 葉月 MATSUKAWA Hazuki

ヴァイオリン・セクションに新たに入団いたしました
松川葉月（まつかわはづき）をご紹介いたします。

1	誕生日	7月22日
2	私はこんな人	慎重な人
3	楽器を始めたきっかけ	友達のお母さんが弾いていた楽器を見て、あの楽器やりたい！と言ったらしいです
4	音楽家になっていなかったら？	ジオラマなど細かい物を作る仕事
5	時間があったら何をしたい？	遠いところに旅行したい
6	リラックス方法は？	お酒を飲んだりゲームをしたり
7	好きな映画を一つ教えてください	ハリーポッターシリーズ
8	座右の銘があれば	遠きに行くは必ず邇きよりす
9	日本フィルに入団が決まった瞬間の気持ちを一言で	本当ですか！？
10	ずばり、今のところ日本フィルはこんなオケだと思う	エネルギッシュであたたかいオケ

11 **最後にお客様へのメッセージをお願いいたします**

これから日本フィルの一員として、たくさんのお客様に素晴らしい音をお届け出来るように日々精進して参ります！

NEXT CONCERTS
〉〉次回東京定期演奏会

第755回

サントリーホール

2023年11月3日(金・祝)19:00開演　プレトーク 奥田 佳道氏 18:30〜

4日(土)　14:00開演　13:20〜

怒濤のリズムが応酬するマエストロ小林による久しぶりの《カルミナ・ブラーナ》

1回券料金	S ¥8,000　A ¥6,500　B ¥6,000　C 完売　P 合唱団席　Ys (25歳以下) ¥1,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引きがございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー！　小林 研一郎 編

聞き手　伊熊 よし子

コーラスもオーケストラも空間に飛び散る音、自分の発している音を心から楽しまないと聴衆には伝わらない

「コバケン」の愛称で親しまれている指揮者小林研一郎は「炎のマエストロ」と称されているが、その情熱的でエネルギッシュな指揮の奥には、常に怜悧で真摯で楽譜の裏側まで読み込み、奥義を極めるクールな目が存在する。作曲家がひとつひとつの音符に込めた苦悩や悲劇や慟哭などをこまやかに代弁し、これまで聴いたことのない世界を繰り広げていく。

10月の東京定期公演でプログラムに組まれるのは、コダーイの「ガランタ舞曲」とオルフの世俗カンタータ「カルミナ・ブラーナ」だが、この2作品に関してもコバケンさんは一家言をもち、特有の音楽論を展開していく。

「《カルミナ・ブラーナ》はコーラスがもっとも重要な役割を担います。これにオーケストラが触発されるわけです。ことばの機微や裏に返る声、表に出る声、地面に叩くような声、人のもっている声のすべてがそこで形成され、ことばに見合うように動かなければなりません。そこで私は心のなかの声が導き出せるよう、リハーサルから全身全霊を傾けてタクトを振っていくわけです。オルフはこの作品の前の自作をすべて捨て去り、自分の音楽はこれだという気概をもって《カルミナ・ブラーナ》を世に送り出した。すごいことでしょう。それまでの作品をすべて破棄してしまったのですよ。この作品によって自分の道が見え、光を見出したのでしょう。神の啓示とでもいうべき、強い思いが天から降りてきた。その思いを受け取り、演奏として届けるためには、作品に内包されているエロティシズムを理解し、コーラスもオーケストラも空間に飛び散る音、自分の発している音を心から楽しまないといけないですね。演奏家が楽しまなければ、聴衆の心には伝わりませんから…」

今回は声楽家にも期待がかかる。

「テノール、バリトンをはじめ声楽家はそれぞれの役柄になりきり、セクシーさや演技力も必要とされます。声楽家はその日のコンディションが非常に大切。万全を期して本番に臨んでくれることを期待しています。それから、今回は児童合唱を参加させていません。コンサートが夜遅い時間帯ということと、子どものうたう作品ではないと考えるからで、東京音楽大学の10人くらいのメンバーで、子どもの声が出せる人を選んでいますから大丈夫」

この大作の前には、ハンガリーでもあまり演奏される機会がないというコダーイの「ガランタ舞曲」が組まれ、これで幕開けする。

「この作品はハンガリーのオーケストラでも難儀する作品。舞曲の要素にうまくアプローチできないのです。ずいぶん前のことになりますが、ハンガリー国立フィルと演奏したときにも、ようやく30年くらい経ってオランダのコンセルトヘボウで演奏したとき、ようやく舞曲らしくなりました。特にホルンが難しい。でも、日本フィルには優秀なホルン奏者がいるため、選曲してみました。《ガランタ舞曲》には日本の情感がただよっていると思います。日本人にも不思議ななつかしさを感じさせる、独特の節回しをもつ情感が…」

この日本の情感の説明のとき、コバケンさんはピアノに向かって、昔の日本の歌曲を弾き語りした。

「こんな説明をするのは私だけでしょうね(笑)。コダーイはバルトークとは異なった道を歩み、昔のしきたりを頑なに守った、偉大な人だと思います」

コバケンさんの話は音楽に対するすさまじいまでの熱き想いが凝縮したもの。2作品とも「類まれなる才能がほとばしる作品だから、火花の散るような演奏をしなければ」「奇妙奇天烈なリズムはただ美しいだけではダメ」など、音楽に肉薄することばが飛び出す。演奏は、まさに聴衆の心に火を点けるに違いない。

助成:
文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会
文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

● 2024年6月東京定期演奏会、横浜定期演奏会及び名曲コンサート内容決定のお知らせ

6月30日に発表いたしました通り、6月に来日を予定しておりました桂冠指揮者兼芸術顧問のアレクサンドル・ラザレフ氏については、現地の状況が一定の落ち着きを取り戻すまでは、出演を見送らざるを得ないという結論に至りました。

以下の通り内容を変更して公演を開催いたします。

何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

第761回東京定期演奏会

2024年6月7日(金)19:00開演
8日(土)14:00開演
サントリーホール

指揮:秋山 和慶
ホルン:信末 碩才[首席奏者]

ベルク:管弦楽のための3つの小品
R.シュトラウス:ホルン協奏曲第2番
ドヴォルジャーク:交響曲第7番

第398回横浜定期演奏会

2024年6月15日(土)17:00開演
横浜みなとみらいホール

第405回名曲コンサート

2024年6月16日(日)14:00開演
サントリーホール

指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]
ピアノ:エリソ・ヴィルサラーゼ

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》
ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》

● 2024年3月30日(土)第395回横浜定期演奏会 出演者変更のお知らせ

アシスタント・コンサートマスターの千葉清加は、都合により2023年冬から2024年初夏まで、演奏活動を休止することとなりました。つきましては、2024年3月30日(土)第395回横浜定期演奏会のソリストが変更となります。

モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第5番《トルコ風》のソロは神尾真由子氏をお迎えいたします。

ご理解賜りますようお願い申し上げます。

第395回横浜定期演奏会

2024年3月30日(土)17:00開演
横浜みなとみらいホール

指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]
ヴァイオリン:神尾 真由子

モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第5番《トルコ風》
サン=サーンス:交響曲第3番《オルガン付き》

● 新入団のお知らせ

2023年9月11日にティンパニ・セクションに池田健太が入団いたしました。今後の活躍にご期待ください。

● 本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。**フラッシュ、動画撮影はお控えください。**詳しくは会場の掲示をご覧ください。

■ プレトーク「本日の聴きどころ」 金曜日 18:30〜 土曜日 13:20〜

東京定期演奏会では、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今月は澤谷夏樹氏の登場です。

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

9月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
(50音順・敬称略)匿名5名

ご寄付の方法 ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演 1 週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター
〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1
TEL:03-5378-5911(平日10 時〜17 時) FAX:03-5378-6161(24時間) E-mail:order-ticket@japanphil.or.jp

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

楽団創立 1956 年 6 月

創立指揮者 渡邉 曉雄
桂冠名誉指揮者 小林 研一郎
名誉指揮者 ルカーチ・エルヴィン
名誉指揮者 ジェームズ・ロッホラン
客員首席指揮者 ネーメ・ヤルヴィ

首席指揮者 カーチュン・ウォン
桂冠指揮者 兼 芸術顧問 アレクサンドル・ラザレフ
フレンド・オブ・JPO(芸術顧問) 広上 淳一

ソロ・コンサートマスター:扇谷 泰朋
ソロ・コンサートマスター:木野 雅之
ソロ・コンサートマスター:田野倉雅秋
アシスタント・コンサートマスター:千葉 清加
第1ヴァイオリン:伊藤 太郎 太田 麻衣 九鬼 明子 齋藤 政和 榊 渚 竹歳 夏鈴 谷﨑 大起 田村 昭博 中谷 郁子 西村 優子 平井 幸子 本田 純一
第2ヴァイオリン:遠藤 直子 大貫 聖子 岡田 紗弓 加藤 祐一 神尾あずさ○ 川口 貴 佐藤駿一郎 末廣 紗弓 豊田 早織 町田 匡 松川 葉月 山田 千秋
ヴィオラ:安達 真理☆ 江藤 史織□ 小俣 由佳 小中澤基道 児仁井かおり 高橋 智史 中川裕美子 中溝とも子 松澤 稚奈
ソロ・チェロ:門脇 大樹
ソロ・チェロ:菊地 知也
チェロ:石崎 美雨 伊堂寺 聡 江原 望 大澤 哲弥 久保 公人 山田 智樹
コントラバス:鈴村 優介 髙山 智仁◎ 成澤 美紀 宮坂 典幸○ 森田麻友美 山口 雅之
フルート:齋藤 光晴 難波 薫 真鍋 恵子◎
オーボエ:佐竹 真登 杉原由希子◎ 松岡 裕雅○
クラリネット:伊藤 寛隆◎ 楠木 慶○ 照沼 夢輝 堂面 宏起
ファゴット:大内 秀介 鈴木 一志◎ 田吉佑久子○ 中川日出鷹
ホルン:伊藤 舜 宇田 紀夫 信末 碩才◎ 原川翔太郎 丸山 勉☆ 村中 美菜
ソロ・トランペット:オッタビアーノ・クリストーフォリ
トランペット:犬飼 伸紀 大西 敏幸◎ 中里 州宏 中務 朋子 星野 究
トロンボーン:伊藤 雄太◎ 笠間 勇登
バス・トロンボーン:中根 幹太
テューバ:柳生 和大
ティンパニ:池田 健太□ エリック・パケラ◎
パーカッション:大河原 渉
ハープ:松井 久子

楽団長:中根 幹太
チーフステージマネージャー:阿部 紋子
ステージスタッフ:長橋 健太 森田 大翔
チーフインスペクター:佐藤駿一郎
インスペクター:宇田 紀夫 鈴村 優介
ライブラリアン:鬼頭さやか 杉本 哲也

◎首席奏者 ○副首席奏者 ☆客演首席奏者 □試用期間

理事長(代表理事):平井 俊邦
副理事長(代表理事):五味 康昌
専務理事(代表理事):福井 英次
常務理事(代表理事):後藤 朋俊
常務理事(代表理事):中根 幹太
理事:石井啓一郎/遠藤 滋 佐々木経世/田村 浩章 戸所 邦弘/福本ともみ
監事:上條 貞夫/福澤 宏哉
評議員会会長:加藤 丈夫
評議員:青井 浩/安孫子 正 荒蒔康一郎/石塚 邦雄 石村 等/稲垣 尚 内川 清雄/大塚 宣夫 海堀 周造/梶浦 卓一 河北 博文/喜多 崇介 木村 惠司/久保田 隆 小林研一郎/島田 精一 津田 義久/西澤 豊 野間 省伸/葉田 順治 村上典史子/山口多賀幸
名誉顧問:熊谷 直彦
名誉顧問:島田 晴雄
名誉顧問:田邊 稔
アドバイザリー・ボード:大島 剛/小野 敏夫 小網 忠明/後藤 茂 武田 隆男/田邊 稔 溝口 文雄
コミュニケーション・ディレクター:マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ:淺見 浩司/磯部 一史 江原 陽子/及川ひろか 小川紗智子/荻島 里帆 賀澤 美和/柏熊由紀子 小須田 萌/佐々木文雄 澤田 智夫/篠崎めぐみ 清水佑香子/杉山 綾子 杉山まどか/高橋 勇人 田中 正彦/槌谷 祐子 中村沙緒里/西田 大輔 長谷川珠子/藤田 千明 別府 一樹/益滿 行裕 宗澤 晶子/山岸 淳子 吉岡 浩子
シニア・パートナー:新井 康允/伊波 睦 永島 義郎/南部 洋一

団友:
青柳 哲夫/青山 均/赤堀 泰江 新井 豊治/石井啓一郎/伊藤 恒男 伊波 睦/遠藤 功/遠藤 剛史 大石 修/大川内 弘/大味 修 筧 美知子/金本 順子/蒲谷 隆行 川口 和宏/菊田 秋一/岸良 開城 吉川 利幸/木村 正伸/小林 俊夫 小山 清/斎藤 千種/佐々木裕司 佐藤 玲子/菅原 光/髙木 裕子 髙木 雄司/高木 洋/高倉 理実 田沢 烈/立川 和男/堂阪 俊子 富樫 尚代/豊田 尚生/中川 二朗 永田 健一/中務 幸彦/奈切 敏郎 橋本 洋/畑井紀代子/平賀 法子 福島 喜裕/松本 克巳/松本 伸二 三本 克郎/宮武 良平/三好 明子 森 茂/山下 進三/山科 淑子 山本 辰夫/渡辺 哲雄

(2023年10月1日現在)

チケットお申込・お問い合せ

[日本フィル・サービスセンター]

TEL.03-5378-5911(平日10時～17時)

eチケット♪ https://eticket.japanphil.or.jp

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1　TEL.03-5378-6311

https://japanphil.or.jp

公式 X(旧Twitter)
@Japanphil

LINE 公式アカウント

BS朝日 5 「Welcome クラシック」
毎週水曜日 22:54～23:00 放送中!!

日本フィル公式YouTube YouTube

「5分でわかる!
大人のためのオーケストラ入門」

＼毎月10日・20日にお届け／

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA SUBSCRIPTION CONCERTS Vol.754

第754回 東京定期演奏会